

宇津木台 森遊会 「臨時活動」 実施報告

No.2016-01r

実施日	2016年4月22日(金) 5:30~10:00	天候：晴れ	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：中野、中村(弘)、金森 学校関係者：八王子市立石川中学校、大神田、ボランティア部9名		

実施内容

八王子市立石川中学校ボランティア部の生徒が昨年11月22日に設置した巣箱を生徒自ら観察する。土日の実施は調整が難しく、平日となれば早朝(学校開始前)か夕方(放課後)が候補となった。結局、早朝5時30分集合、6時30分散で実施した。野鳥(主にシジュウカラ)が巣を作る時期ではあるが、卵や雛はまだおらず、親鳥が巣箱を出入りする様子が観察できるかは期待薄であった。しかしながら、生徒が継続して観察できるように、方法や巣箱の位置を確認する目的でこの時期に実施した。

計12個の巣箱を順次観察したが、出入りは見られなかった。周辺を飛び回る野鳥は多数観察できた。観察には森遊会から貸し出した双眼鏡と寄贈したズーム機能が充実したデジタルカメラを用いた。デジタルカメラは会員の田原氏から寄贈していただいた。今後、自主的な観察での活躍が期待できる。

巣箱以外にもコナラの実生やカタクリ、筍を観察しながら1時間はあっという間に過ぎた。地元の西玉神社を通り、宇津木台中央のバス停にて解散した。早朝の森は中学生にとってどうだったのだろう。

午前7時から次回活動の準備を金森ひとりで行う。過去に伐採した木々を積むスペース確保のため斜面を皆伐する。チェーンソーを使って幅5メートル長さ50m程の斜面は3時間で立ち木がなくなった。

午前10時、緑地を一回りして臨時活動は終了した。



早朝5時の宇津木台



時間通りに集合



巣箱はどうだろうか



双眼鏡やカメラで観察する



なかなか鳥の出入りがない



ズーム撮影の練習



カタクリを観察



無数に広がるコナラの実生



大きな筍に驚く



初めて知った「西玉神社」



皆伐前の斜面



3時間で伐り終える

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットはなし。 ・ボランティア袋は発生なし。